

29pmG-057

実務実習日誌の解析

○秦 季之¹, 堀井 梢¹, 松島 裕貴¹, 廣瀬 順造¹, 佐藤 英治¹, 吉富 博則¹
(¹福山大薬)

【目的】今後の実務実習を効果的に実施するために、ワークショップやアンケートによる実務実習を対象とした多くの評価報告がなされるようになった。実習生、指導薬剤師、大学教員間の情報共有や実習生の評価に用いられる実務実習日誌は、実務実習の評価に用いられることが提案されているが、実習日誌から実務実習を評価した研究はいまだ報告されていない。そこで、実習日誌から実務実習の「見学」に関する評価を試みた。

【方法】平成 22 年度と平成 23 年度に提出された実習日誌を対象として、「見学」と共起度 (Jaccard 係数) が高いものから 100 語を抽出した。さらに得られた 100 語間のすべての組み合わせの共起度を求め、共起度の高い組み合わせ上位 100 組に線を引いて共起ネットワークを作成した。これらの作業はすべてテキストマイニングソフトの KHcoder を用いた。次に、得られた共起語をキーワードに用いた全文検索により、日誌に記載された内容について集計した。さらに実習日誌の該当する文章をそれぞれ確認し、検索キーワードと係り受け関係が確認できたキーワードを関連キーワードとし抽出した。

【結果と考察】実習日誌に記載された見学内容は実務実習モデル・コアカリキュラムに記載されており、実務実習が学習方略に沿って実施されたことが確認できた。「見学」と最も関連が強い共起語は、平成 22 年度と平成 23 年度ともに薬剤師の基本業務に関する共起語「服薬」、「病棟」、「指導」であった。その他に「カンファレンス」「NST」に代表される「チーム医療」に関する共起語群や、「在宅」「医療」などの地域医療に関する共起語群が得られた。チーム医療や地域医療の推進という社会的要請が実務実習に反映されていた。